

○ やまぐちイクメン応援表彰の受賞者（5名）

区 分	氏 名	取組内容
最優秀賞	ふくだ けんじ 福田 賢司 （山口市）	<ul style="list-style-type: none"> ○共働きのため、家事育児の分担はできる方ができる事をやっている。夫の役割・妻の役割に男女の差は特にない。 ○例えば保育園送迎は朝：夫、夕：妻としたり、夕食以降のコアタイムは夫婦が協力して対応するなど、子育ての楽しさや大変さを共有している。 ○日常的に家事育児を共有することで、仕事や病気等でのワンオペ育児も乗り切っている。また、夫婦がお互いに1人の時間をもてることにもつながっている。
優秀賞	いとう ひかる 伊藤 光 （周南市）	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事の時間が朝から夕方までの日や、昼から夜中までの日があるが、家事・育児は出来る方が出来る時にやればよいと考えており、3人の子どもの育児や家事を積極的に行っている。 ○自然の中で育った経験を活かして、子ども達にもたくさん自然にふれる機会を持ち、自然の素晴らしさを教えている。
	おかい みつのり 岡井 光憲 （下松市）	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てをして疲れている妻を、どこかで休ませてあげたいとの思いで家事・育児に取り組んでいる。 ○育休を取得して、初めての育児を妻と二人で相談協力しながら実践している。育休中にフォローをしてくれた職場にも感謝している。
	はやし てるあき 林 輝憲 （柳井市）	<ul style="list-style-type: none"> ○共働き家庭では出産に伴う仕事への影響は妻の方が大きいと考え、育児・家事は自分が主導で行っている。 ○子育てをするにあたり、家庭菜園を新たな趣味にして、娘と一緒に土を作り、苗を植え付け、収穫の行程を楽しんでいる。 ○紙ベースではなく、スマホ内に子育て日記をつけることで、必要な情報を手軽に検索して役立てている。
	わたなべ けんた 渡邊 健太 （山口市）	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てをするなら自然の多いところがいいという思いで、県外から山口へ移住して、夫婦共に働きながら協力して3人の子育てをしている。 ○リモートワークや裁量労働制であることを活かして、家事や育児を積極的に行っている。休日には子どもたちと家庭菜園を楽しみ食育にも取り組んでいる。